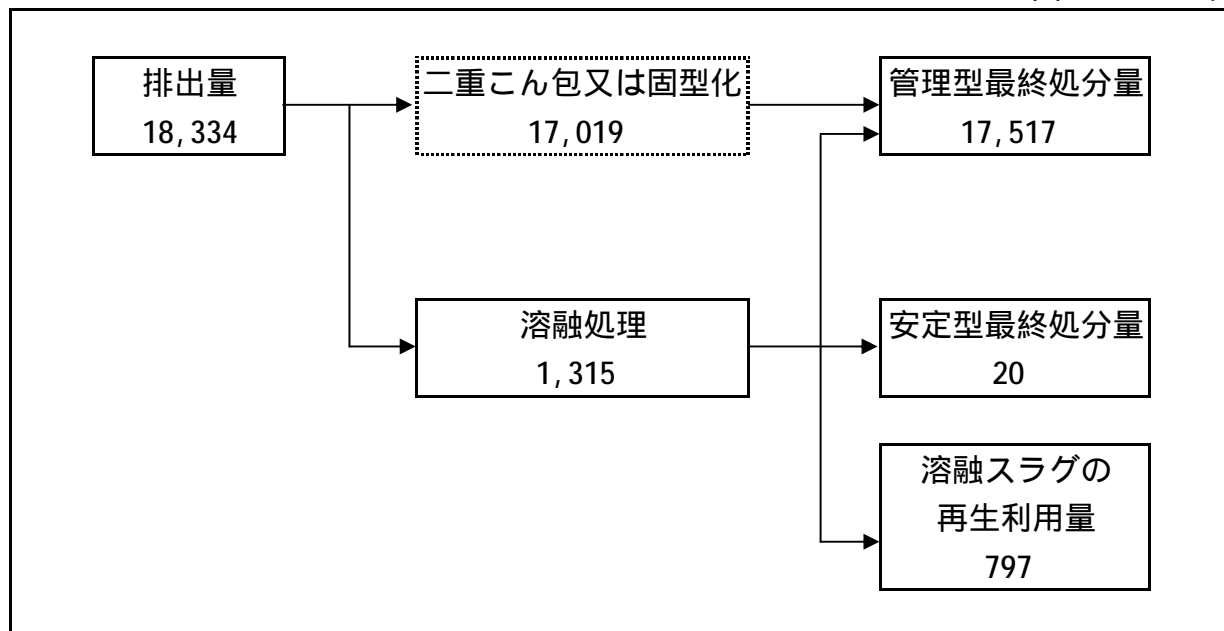


1. 吹付けアスベスト等飛散性のアスベスト廃棄物の処理状況（平成16年度実績）

平成16年度の処理量は、18,334トンであった。うち、二重こん包又は固型化した上で埋立処分が17,019トン、溶融処理が1,315トンであった。

単位：トン/年



ブロック別処理量

単位：トン/年

ブロック名	最終処分量	溶融処理量
北海道区域	357	0
東北区域	1,350	52
関東区域	3,356	409
中部区域	6,134	0
近畿区域	873	0
中国四国区域	2,715	406
九州区域	2,752	448
計	17,537	1,315

（参考）

吹付け石綿の排出量を排出事業者（解体業者、アスベスト除去業者等）からのデータにより集計したところ、15,232トンであった。図中の排出量（18,334トン）は、処理業者が処理した廃石綿等の処理量から集計した排出量であり、廃石綿等には、吹付け石綿のほか保温材等が含まれるため、排出事業者からの集計値と一致しない。

廃石綿等の処理に関する許可業者数は、全国で溶融処理15、最終処分60である（平成17年8月現在）。

溶融施設

ブロック	処理業者数	処理能力(トン/日)
東北区域	2	180
関東区域	6	808
近畿区域	1	95
中国四国区域	5	1,295
九州区域	1	48
計	15	2,426

最終処分場

ブロック	処理業者数	許可容量(百万m ³)
北海道区域	6	2
東北区域	12	18
関東区域	6	10
中部区域	11	7
近畿区域	5	2
中国四国区域	13	18
九州区域	7	2
計	60	59

2.立入検査の結果(平成17年7月～9月)

(1)飛散性アスベスト廃棄物について

1)立入件数等

都道府県及び政令市が本年7月から9月の間に実施した、廃石綿等の排出事業者への延べ立入件数は750件、産業廃棄物処理業者(収集運搬業者を含む)への延べ立入件数は670件であった。

立入検査により不適切な事案が判明した件数は、排出事業者23件、処理業者1件であった。

	立入件数		割合(%)
		うち、不適切な事案の件数	
排出事業者	750	23	3.1
処理業者	670	1	0.1
収集運搬業者	520	1	0.2
中間処理業者	53	0	0
最終処分業者	97	0	0
計	1,420	24	1.7

2)不適切な事案の概要

不適切な事案としては、排出事業者については、保管場所の表示の不徹底、特別管理産業廃棄物管理責任者の未設置、マニフェスト交付の不徹底等であり、処理業者については、産業廃棄物運搬車両の表示の不徹底であった。これら不適切な事案に対しては、速やかに措置を講じるよう平成17年7月28日に都道府県に通知しており、当該都道府県等が指導済みである。

今後とも、都道府県等を通じ、排出事業者及び廃棄物処理業者に対して、アスベスト廃棄物の適正処理が図られるよう指導を徹底していく。

	不適切な事案の概要
排出事業者	保管場所の表示の不徹底 特別管理産業廃棄物管理責任者の未設置 マニフェスト交付の不徹底 委託契約書での契約の不徹底 帳簿の記載不備 廃石綿等を通常の産業廃棄物として委託
収集運搬業者	産業廃棄物運搬車両の表示の不徹底

3)立入検査の状況内訳

排出事業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	21	0
東北区域	79	6
関東区域	119	11
中部区域	213	0
近畿区域	128	1
中国四国区域	82	3
九州区域	108	2
計	750	23

収集運搬業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	30	1
東北区域	106	0
関東区域	91	0
中部区域	63	0
近畿区域	54	0
中国四国区域	52	0
九州区域	124	0
計	520	1

中間処理業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	1	0
東北区域	11	0
関東区域	15	0
中部区域	4	0
近畿区域	2	0
中国四国区域	10	0
九州区域	10	0
計	53	0

最終処分業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	15	0
東北区域	14	0
関東区域	10	0
中部区域	16	0
近畿区域	7	0
中国四国区域	19	0
九州区域	16	0
計	97	0

2)非飛散性アスベスト廃棄物について

アスベスト成形板等の非飛散性アスベスト廃棄物については、平成17年3月31日にその取扱いに関する技術指針を示すとともに、関係者に対する周知徹底を図っているところである。アスベスト廃棄物の適正処理が確保されるよう平成17年7月28日に非飛散性アスベスト廃棄物についても重点的に立入検査を行い、指導の強化、徹底を実施するよう都道府県等に通知しており、非飛散性アスベスト廃棄物の排出事業者及び処理業者に対する立入検査の結果は次のとおりであった。

1)立入件数等

アスベスト成形板等の非飛散性アスベスト廃棄物については、排出事業者への延べ立入件数は2,641件、産業廃棄物処理業者への延べ立入件数は5,997件であった。立入検査により、不適切な事案が判明した件数は、排出事業者14件、処理業者79件であった。

	立入件数	割合(%)	
		うち、不適切な事案の件数	
排出事業者	2,641	14	0.5
処理業者	5,997	79	1.3
収集運搬業者	2,302	32	1.4
中間処理業者	2,612	33	1.3
最終処分業者	1,083	14	1.3
計	8,638	93	1.1

2)不適切な処理の概要

不適切な事案としては、排出事業者については、保管場所の表示の不徹底、分別の不徹底、委託契約書での契約の不徹底等であり、処理業者については、分別の不徹底、産業廃棄物運搬車両の表示の不徹底、破砕施設での飛散防止対策の不徹底等であった。

	不適切な処理の概要
排出事業者	保管場所の表示の不徹底 分別の不徹底 委託契約書での契約の不徹底 処理計画策定の不徹底 保管場所での飛散防止対策の不徹底 マニフェストの交付の不徹底 記載不備
収集運搬業者	分別の不徹底 シート掛け等の飛散防止対策の不徹底 産業廃棄物運搬車両の表示の不徹底
中間処理業者	破砕施設での飛散防止対策の不徹底 分別の不徹底 保管場所での飛散防止対策の不徹底 保管場所の表示の不徹底
最終処分業者	一定場所での埋立の不徹底 湿潤等の飛散防止対策の不徹底

3)立入検査の状況内訳

排出事業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	0	0
東北区域	117	3
関東区域	1,185	4
中部区域	236	5
近畿区域	61	1
中国四国区域	292	0
九州区域	750	1
計	2,641	14

収集運搬業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	95	0
東北区域	233	0
関東区域	407	2
中部区域	286	3
近畿区域	352	10
中国四国区域	208	17
九州区域	721	0
計	2,302	32

中間処理業者

ブロック	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	121	0
東北区域	161	0
関東区域	665	4
中部区域	382	6
近畿区域	561	6
中国四国区域	279	14
九州区域	443	3
計	2,612	33

最終処分業者

地区事務所	立入件数	うち、不適切な事案の件数
北海道区域	103	0
東北区域	87	0
関東区域	97	0
中部区域	80	3
近畿区域	234	5
中国四国区域	122	6
九州区域	360	0
計	1,083	14

(参考)

< アスベスト産業廃棄物処理の概要 >

